

「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和5年2月24日（金） NO28 文責 ^{きした}木下 ^{ふみあき}文秋

そこに正義はあるのか？

ロシアのウクライナ侵攻から今日で一年になるそうです。私も事の背景は詳しく分からないのですが、ネットで検索してみると、ロシアが世界のルールを破ってウクライナに攻めこみ、力づくで国の一部を奪おうとしており、それにウクライナが抵抗して国を守ろうと戦っているということのようです。悲しいことですが、戦争は昔から世界中で何度も繰り返されてきました。「国」というものができてからは「国と国」との戦争が繰り返されて、たくさんの方が亡くなるという、悲しい結果をもたらしてきました。戦争に勝った国が負けた国を支配し、「勝ったほうが正しい」という考え方が当たり前の時代があったということです。ミサイルが打ちこまれ子ども、老人が亡くなっている映像が流れて、世界でこんな悲劇が起きていることに驚きを隠せませんが、世界中のリーダーが反対の意を述べるのに、ロシアに乗り込んでやめるように忠告するとか、「そうだ！ そうだ！」と共感するような話は耳にしません。国同士の駆け引きや、経済、貿易などお金のこともあるのですが、人の命がかかっているのだからと思いながら一年たちました。「義を見てせざるは勇なきなり」ということわざがあります。「人として当然行うべき正義と知りながら実行しないのは、勇気がないからである」という意味です。昨年、栃木県で電車の中でタバコを吸っていた人に「やめてもらえませんか？」と注意した高校生が、注意された人から一方的に、殴るけるの暴力を受けるという事件がありました。同乗していた人の中に、高校生を救おうとした人はいなかったそうです。最近では、わがままな逆恨みによる犯行で命を落とす事件や「誰でもいいから殺して自分も死にたかった」など全く意味不明な理屈も珍しくないことを考えると、堂々と正義を貫く自信はなさそうに思います。皆さんはどうでしょうか。例えばクラス内でいじめやけんかがあったとき「見て見ぬふり」をするか。それとも「制止」するのか。自分が想像していないことが目の前で起きて、その対応を迫られた時、人はどういう行動をとるのでしょうか。自分だったらどうするか？残念ですが、私は正義と向き合う行動をとる絶対的な自信がありませんから「知らないふりをする」「その場から立ち去る」かもしれません。しかし、いくつになってもどんな世の中になっても、正義を全うできる人間を目指して努力はしていきたいと思います。